

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		商店街外国人観光客おもてなし支援				所管	文化産業観光部 産業振興課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	183	計画事業名	おもてなしの人づくり		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現 [施策] 40 区民生活と調和する観光の推進				[事業開始] 平成 27 年度 [終了予定] 令和 2 年度				
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕		台東区商店街振興事業実施要綱、台東区商店街振興事業補助金交付要綱					
	事業対象	直接の対象 : 台東区商店街の届出に関する取扱要綱に定める商店街名簿に登録された商店街 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	東京2020大会の開催を機に、今後更なる増加が想定される外国人観光客に対応するため、商店街による外国人観光客に対する「おもてなし」の取り組みを支援することで、本区のおもてなし体制の向上を図ることを目的とする。								
	事業内容 [H30年度]	区内商店街が行う外国人観光客に対する「おもてなし」に関する取り組みに対して、経費の一部を補助する。 補助率: 1/2 (東京都が補助する場合は区と都を併せて5/6以内) 限度額(区・都): 833万3千円 ※講演会・研修会等 任意75万円、法人100万円、複数150万円(いずれも区・都合合わせた限度額) ※外国人観光客受入のための施設・設備の設置で、東京都政策課題対応型商店街事業の対象となった場合 補助率: 1/10 (区と都を合わせて9/10以内) 限度額(区): 1,500万円								
	委託の有無	なし	委託内容		なし					
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	助成件数	件	10	12	13	13	10	130.0%	
	成果指標									
	決算額 (単位: 千円)				H28年度	H29年度	H30年度			
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト (人件費など)				3,567	2,933	4,408		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				0	0	0		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				19,345	33,627	28,707		
		総経費				22,912	36,560	33,115		
	財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				10,613	19,032	16,425			
	一般財源 (区負担額)				12,299	17,528	16,690			
課題及び今後の進め方	東京2020大会の開催に向けて、外国人観光客の更なる増加が見込まれるため、商店街における観光客受入環境の整備は急務となっている。事業実施にあたっては、有識者の意見を参考に積極的に指導・助言をしていく。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	東京2020大会の開催に向けて、今後も外国人観光客の増加が想定される。その中で、商店街による「おもてなし」の取り組みは不可欠であり、積極的に支援を行う必要がある。							
	効率性	3	他の補助事業同様、商店街が行う事業に対し、その事業経費の全額を補助するのではなく、一部を補助することによって、商店街の自主性を損なわず、最小限の経費で支援を実施している。							
	手段の適切性	3	他の補助事業同様、補助事業の選定にあたっては、学識経験者・有識者・中小企業診断士等から構成される審査会で審査をしたうえでを行っている。また、適宜指導・助言を行うことで、効果的な事業実施を図っている。							
目的達成度	4	助成件数も年々増加し、商店街による外国人観光客に対する「おもてなし」の取り組みの向上につながっている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
東京2020大会の開催に向けて、外国人観光客の更なる増加が見込まれる中で、言語のバリアフリーや多文化理解を進めて、商店街もおもてなし体制の向上を図ることは、リピート率や売上の向上につながる。引き続き、商店街の自主的な活動を経費面で支援していく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		